

塩尻市北部交流センター 運営プラン (ダイジェスト版)

「こどもがつながうあたらしいふるさと」を目指して



塩尻市

北部交流センターの「目指す姿」

北部交流センターは、この地域に根差し生活する人々が、地域内外の多様な主体とともに事業運営に携わることで、地域のコミュニティを育てていくことを目的としています。さらに、地域全体で子どもたちを支え、育てていくための中核的施設として、子どもたちを中心に、世代や立場を超えた出会いや交流を生み出し、人々の地域に対する誇りや愛着を育てていきます。そのため、行政と地域の多様な主体がともに実現していく北部交流センターの目指す姿を設定します。

こどもがつなぐ「あたらしいふるさと」

●「こども」とは

子育て支援センターを利用する乳幼児、図書館や学習スペースを利用する小中学生や高校生、ジュニアリーダーや子ども会で活躍する小中学生、これらの子どもたちの保護者など

●「つなぐ」とは

子どもを「核」に集まり、つながり、育てることにより、多世代または新旧の住民、民間企業、自治会、大学、市民団体など地域内外の多様な人的資源がつながり、新たな価値観を生み出す仕組み

●「あたらしいふるさと」とは

- 北部地域に住む人たちが、世代や立場の枠を超えて出会い、交流し、地域に根差した活動を通じて新たなコミュニティが生まれる場
- 北部地域に住む人たちが、100年後もこの地域に誇りと愛着を持って生き生きと暮らすことができる「ふるさと」

基本コンセプト

～目指す姿を実現するための目標と基本機能～

北部地域は、新たに居住した住民が多く、古くから居住している住民との融和が求められているため、北部地域拠点施設建築構想では、地域特性を踏まえた基本コンセプトを設定しています。

多様な住民が確かで豊かな暮らしを営むための コミュニティづくりの場

●基本コンセプトの目的

- 様々な背景や価値観を持つ、幅広い世代の住民が交流する場を提供し、住民同士の活発な活動を育み、安心して暮らすことができるコミュニティの形成を支援する
- 確かな暮らし、豊かな暮らしを実現するためのコミュニティの形成を促進し、この地域への愛着と誇りを醸成する

●基本コンセプトの実現と目指す姿の具現化に向けて

建築構想では、基本コンセプトの実現に向け、五つの目標と七つの基本機能を設定しています。これらの目標と基本機能に即した事業を展開することで、「こどもがつなぐあたらしいふるさと」を目指していきます。

■五つの目標

- ① 北部地域の住民が、塩尻市民としての自覚・誇りを実感できるシンボルとなること
- ② 北部地域の住民を中心に、市内外から誰もが立ち寄れるオープンな場となること
- ③ 様々な人々が交流することを通じて施設及び北部地域の価値を高めていくこと
- ④ 北部地域住民のコミュニティ創造の拠点となること
- ⑤ 広丘地区の支所・公民館の有する機能を継承・向上させること

■七つの基本機能

- ① 人が集いつながる
- ② 役立つ情報を提供する
- ③ 意欲と活動を応援する
- ④ 北部地域の課題解決を支援する
- ⑤ 北部地域の価値創造を支援する
- ⑥ まちへの集客・回遊を促進する
- ⑦ 施設自身が進化する

機能ごとの運営方針

北部交流センターは、支所、公民館、図書館、子育て支援センターの各機能を備える複合施設です。地域コミュニティの活性化を促し、地域の発展と将来にわたる持続性を確保するため、それぞれの機能が持つ特性が融和し、有機的に機能する事業を展開し、運営していきます。広丘地区、吉田地区、高出地区の一部及び片丘地区の一部を事業対象地域としています。地域内外の誰もが利用できる施設です。

●広丘支所

広丘支所は、従来から行っている住民サービスや広丘地区関係業務など、行政の出先機関としての役割が大きいことから、支所業務に関しては、他機能とは切り離し、独立して運営することを基本とします。

●広丘公民館

公民館事業は、地区住民を対象とした運営という点では支所と同様ですが、支所に比べると運営に関する柔軟性や多様性を備えています。他地区の公民館とのつながりを意識した上で、広丘図書館や北部子育て支援センター等と連携した運営を進めていきます。

●広丘図書館

これまでの広丘分館から、機能、開館時間などのサービス面に加えて蔵書数を拡充し、本館に次ぐ規模の図書館となります。北部地域における中核的な図書館として、様々な世代の住民に向け、的確な情報提供を行うとともに、広丘公民館や北部子育て支援センター等と連携した運営を進めていきます。

●北部子育て支援センター

北部子育て支援センターは、既存の吉田地区センター北側から移転します。引き続き、北部地域の子育て支援の中核的施設として、北部あんしんサポートルームと併せた事業展開を行うとともに、広丘公民館や広丘図書館等と連携した運営を進めていきます。

事業運営の基本的な考え方

●地域住民との連携による運営

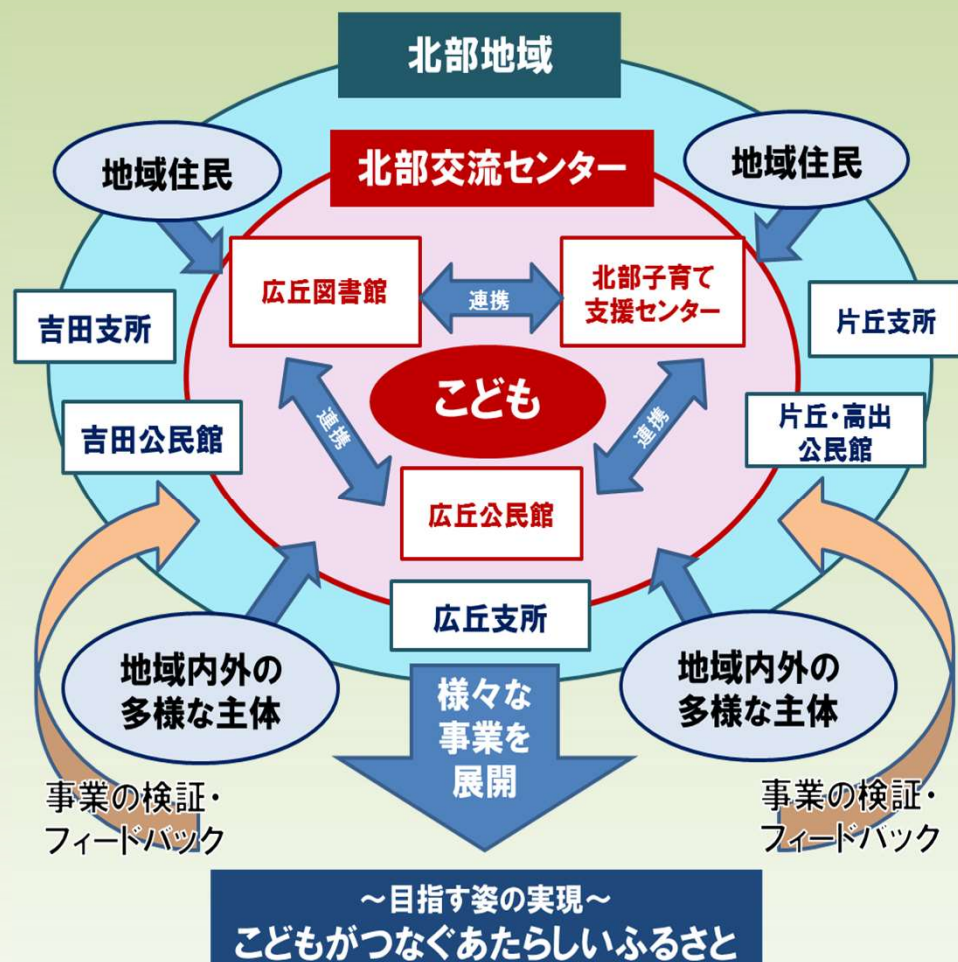
地域活動の担い手は地域住民であることを基本に、センター機能が、地域内外の多様な主体と共に、住民の主体的な活動を支援していくための事業運営

●「こども」が核となる事業展開を常に意識した運営

地域の人々の安心、安全な暮らしの営みを未来にわたって確保していくために、ここで育った子どもたちが、地域への誇りと愛着を育んでいくための事業運営

●発展し、進化を目指す運営

センター主体のイベント企画や、地域住民などの手で繰り広げられる様々な活動内容を蓄積し、分析することで、センター機能や活動内容を評価、改善し、センター自体の進化につなげる事業運営



地域住民の「学びの場」としての位置づけ

こどもがつなぐ「あたらしいふるさと」を目指し、100年後の未来を見据えた地域づくりを支えていくためには、地域住民の「学び」が大切であり、北部交流センターはそのための「学びの場」でもあります。地域住民のつながりを深め、「学び」を地域課題解決につなげていくことで、持続可能な「あたらしいふるさと」を創造することができます。

●「学びの場」の創出に向けた機能融合

学びの場の創出には、公民館、子育て支援センター、図書館の三つの機能の利点を最大限発揮させる機能融合が求められます。

今後の地域における「学びの場」は、生後3か月の乳幼児から100歳を超えるお年寄りまで、地域のあらゆる住民が集い、交流し、学べる場であることが重要です。

●多様な主体の参画

「学びの場」の創造には、人を引き付ける工夫が求められます。そのため、北部交流センターが持つ機能以外にも、市民団体、大学、民間企業など、北部地域内外の多様な主体の参画を促すことで、多くの地域住民の学びの場を提供していきます。



■休館日

区 分	休館日	
全館休館日	毎月第3月曜日(祝日の場合は翌日) 年末年始(12月29日から翌年の1月3日まで)	
個別休館日	広丘支所	土曜日、日曜日、祝日
	広丘公民館	なし
	北部子育て支援センター	日曜日
	※北部あんしんサポートルーム	土曜日、日曜日、祝日
	広丘図書館	月曜日(祝日の場合は翌日)、資料整理日、蔵書点検期間

※月に一度の全館休館日は、**支所以外**の機能(支所棟1階の交流スペースを含む)を閉館として、清掃等維持管理上必要な作業を行う。

■開館時間

区 分		開館時刻	閉館時刻
全館開館時間		8時30分	22時
個別開館時間	広丘支所	9時	16時30分
	広丘公民館	8時30分	22時
	北部子育て支援センター	9時	16時
	※北部あんしんサポートルーム	午前	9時30分
		午後	13時30分
	広丘図書館	平日	9時30分
		土日祝日	9時30分

■MAP

